

夏山登山における山岳遭難防止

～安全第一で鳥海登山を楽しむために～

- 平成30年中、山形県内では、107人の方が山で遭難し、うち9人の方が亡くなっています。(前年比で、遭難者が56人・死者が3人の大幅増加)
発生した山岳遭難の内訳をみますと、登山で61人の方が遭難しており、全体の57%を占めています。
- 酒田警察署管内で平成30年に発生した全11件の山岳遭難をみても、その全てが鳥海山の登山で遭難したものです。
- 夏山登山での山岳遭難の多くは、登山者の「事前の準備不足」、「軽装での登山」、「体力や技術の過信」など、登山に対する甘い認識から発生しています。



鳥海登山の「3つの心得」



①

登山届を確実に提出する

- ◇ 安全で無理のない登山計画を立て、登山届を提出しましょう。
登山届は、家族に託すとともに警察署や警察本部にも届けましょう。
- ⇒ 山形県警察では、登山届を従来のFAXによる提出方法の他に、インターネット又は電子メールでも受け付けています。(HPを参照)
- ※ 警察本部へ提出するときは、登山の一週間前には提出してください。

②

十分な装備を携行する

- ◇ 必ず携帯電話と予備電池、地図、食料、懐中電灯、雨衣、ヘルメットなどの装備品を用意しましょう。
- ◇ 携帯電話のGPS位置情報を有効にして、万が一の通報のために備えましょう。(遭難したら直ぐに110番!)



③

決して無理をしないこと

- ◇ 単独登山、夕暮れ時や夜間にかかる登山は、道迷い等により遭難する可能性が高まるのでやめましょう。
- ◇ 悪天候が予想される時、体調がすぐれないときは、無理な登山はしないようにしましょう。
- ◇ 登山中の「熱中症対策」と山頂付近の「防寒対策」にも備えましょう。



高齢登山者の方は、体力に合った登山を守りましょう!